

手の存在

手ぬきをする
と、いうことばがあるが

手はいつもはたらいている

ハットにかうおまおめる時
手すりヒツカ

手すりおまおれる

ハットに手すりおまおる
よかうた

笑目 同級生に

あるころとしおいかう
茶々手い

と、いわれ
なるはと、と思ひ

茶行様トッかきう手い
で

足の一茶をふみおそうとし
は

お、おめだ
おあ手い

一茶おふ出せな

いッも台所へ行つてい
よ、は

右 左とッかきうと、ころか
あるから、靴で

玄関 向呂場を通り
台所へ行くまで

何も手つた
台所で行くことは

おあ手い

ッかきう
所おり

手おッかきう
こ、お出来る

あけなりの 足に変わって

手不^は足^たら^らに^にい^いる

あ^あく^くさ^さき^きえ^えに^にな^なっ^って^てい^いる

手^ては^は音^ねか^かう^うあ^ある^ると^と思^おっ^って^てい^いる

手^てを^をい^いっ^っと^と見^みる

手^ての^のひ^ひう^うも^もう^うぶ^ぶも^も

い^いっ^っの^の内^{うち}に^にか^かし^しわ^わく^くに^にな^なっ^った

す^すっ^っと^とは^はた^たら^らし^して^てい^いる^るた

こ^これ^れか^から^らも^もた^たよ^より^りに^にあ^ある^る日^ひが^があ^ある^るく

大^{だい}印^{いん}に^にい^いい

20²⁴ 4/22